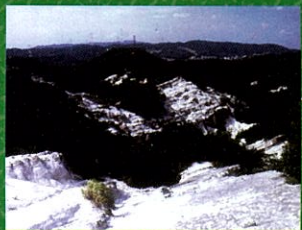


沿線風景



屯鶴峯
 二上山の北西に、低く南北に連なる標高70mの峰で、白色の凝灰岩が露出し、遠くから見ると鶴が屯しているように見えるので、この名がある。(県の天然記念物)

| | |
|--------------------|----------------------|
| 奈良県コースの所要時間 | 起点までの最寄駅と所要時間 |
| 約3時間30分 | 近鉄大阪線 「関屋」駅 |
| 奈良県コースの距離 | 終点 |
| 10.4km | 近鉄南大阪線 「二上山」駅 |

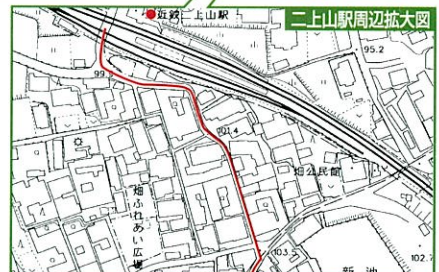
コースガイド

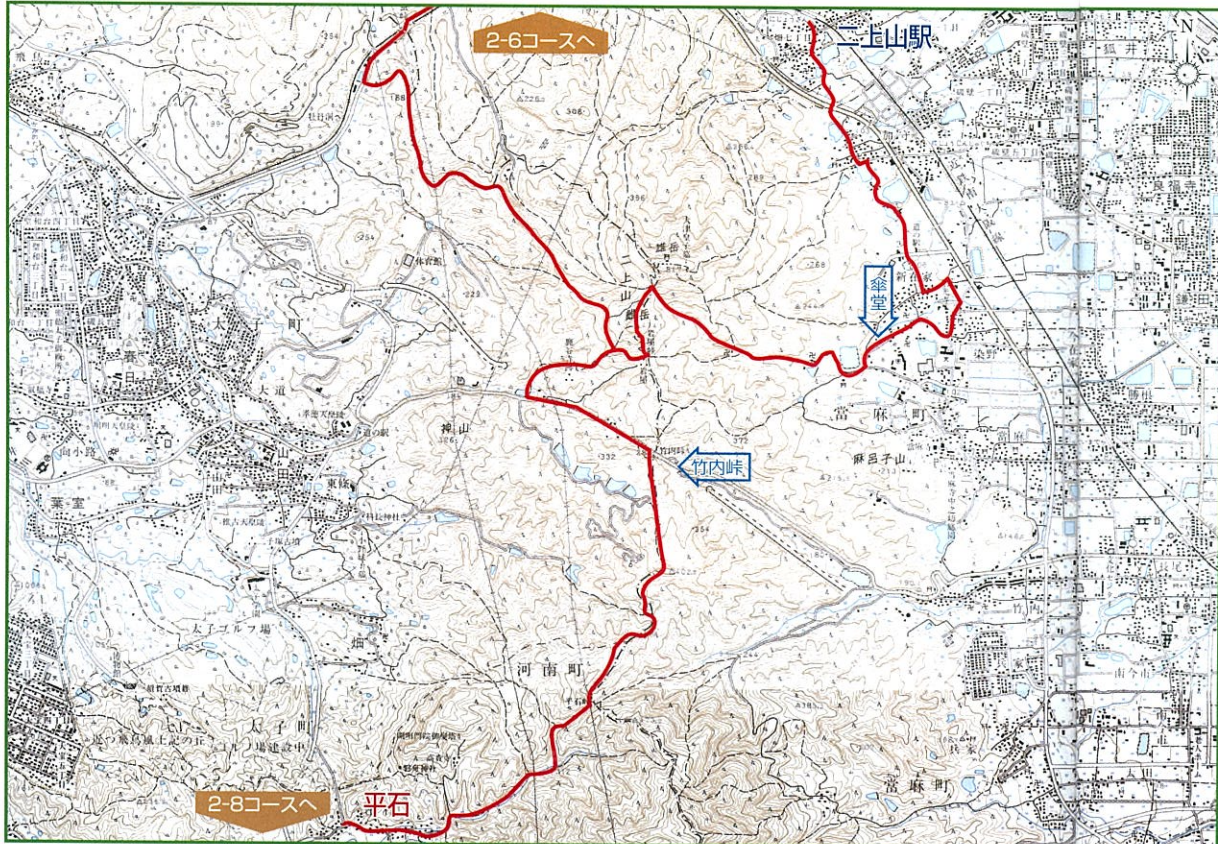
屯鶴峯は標高154メートルの丘陵であるが、山体が凝灰岩から成り、灰白色の(部分的にはまっ白の)山肌を現わしている。鶴がたむろしているように見えることから名付けられた。地質・鉱物・植物等自然資源についても貴重なものを含み、県の天然記念物に指定されている。

屯鶴峯を訪ねるみち

沿線風景

金剛生駒紀泉国定公園の目玉のひとつ、屯鶴峯の奇景を楽しむコース。近鉄関屋駅を出発、鶴峰荘の集落を抜け、小高い丘をこえると、香芝市総合公園。道を下りきって国道165号線を横断すると、屯鶴峯の尾根の北部に取りつく。このあたりはアカマツの混じるコナラ・リョウブ・モチツツジ等の雑木林であるが、やがて灰白色の凝灰岩が山肌を広がり、屯鶴峯の核心部となる。核心部を通り抜けて南口に出、穴虫峠をこえて大阪府側の登山口に至る。入口周辺は果樹園であるが、すぐに尾根に取りつき、林の中を縦走して二上山に登る。二上山の雄岳と雌岳の鞍部から東へ、再び奈良県側へ斜面を下り、山麓の田園地帯を抜けて近鉄二上山駅に着く。





沿線風景



二上山雌岳山頂

二上山は富麻町と大阪府の太子町の境界をくざっています。

奈良県コースの所要時間

約5時間

起点までの最寄駅と所要時間

近鉄南大阪線

「二上山」駅

奈良県コースの距離

10.0km

終点

金剛バス「平石」バス停から
近鉄長野線「富田林」駅まで 20分

コースガイド

二上山は大阪府との県境を分け、雄岳（517メートル）と雌岳（474メートル）の2峰から成る。雄岳頂上には二上神社と大津皇子（天武天皇の皇子）の墓がある。雌岳頂上は広場として整備され、石造の時時計が設置されている。サクラ・ツツジ等花木が植栽され、展望良好。

竹内峠は、歴史文献に初めて現れる官道・竹内街道がこえる峠。現在は国道166号線が旧道に沿ってつけられており、車の通行量がけっこう多い。

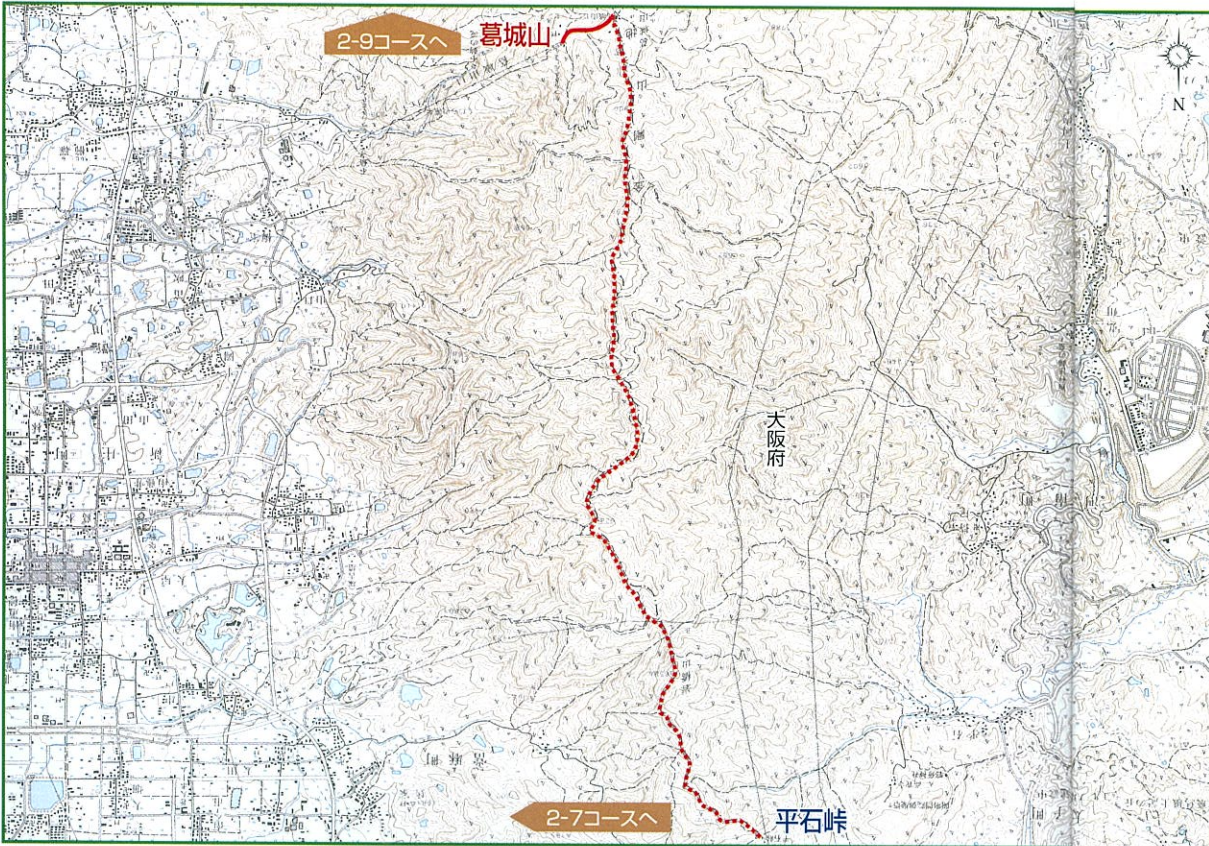
平石峠も、河内から高田へ出る道として、古くからよく利用されていた。ヒノキやスギの林におおわれた薄暗い小さな峠で、古い石仏等も残っている。

近鉄二上山駅から二上山に登り、竹内峠・平石峠と縦走して大阪府側平石に下るコース。富麻町新在家から田園の中を登り、大池から大竜寺・祐泉寺を経て杉林の斜面を二上山に登る。雄岳頂上には二上神社や大津皇子の墓があり、雌岳頂上は広場として整備されていて展望が良い。岩屋峠から一旦鹿谷寺跡の方へ下り、登り返して竹内峠に出る。竹内峠からしばらくは杉林の中の林道を歩き、林道と分かれ谷間を登る。稜線に出てからは、片側人工林・片側雑木材の県境線上をたどり、所々で樹間からの展望を楽しみながら平石峠まで稜線上を縦走する。平石峠はスギやヒノキの植林でおおわれた暗い峠。峠からはその暗い人工林の中の道を、平石の集落まで下る。

沿線風景

二上山をこえるみち





沿線風景



葛城山頂
葛城山は、役行者の開いた修験道の山で、標高 959メートル。

奈良県コースの所要時間

約10分

奈良県コースの距離

0.4km

起点までの最寄駅と所要時間

金剛バス近鉄長野線「富田林」バス停まで20分
葛城山まで徒歩3時間50分

終点から最寄駅までの所要時間

奈良交通バス「葛城山ロープウェイ前」から近鉄御所線「近鉄御所」駅まで15分

コースガイド

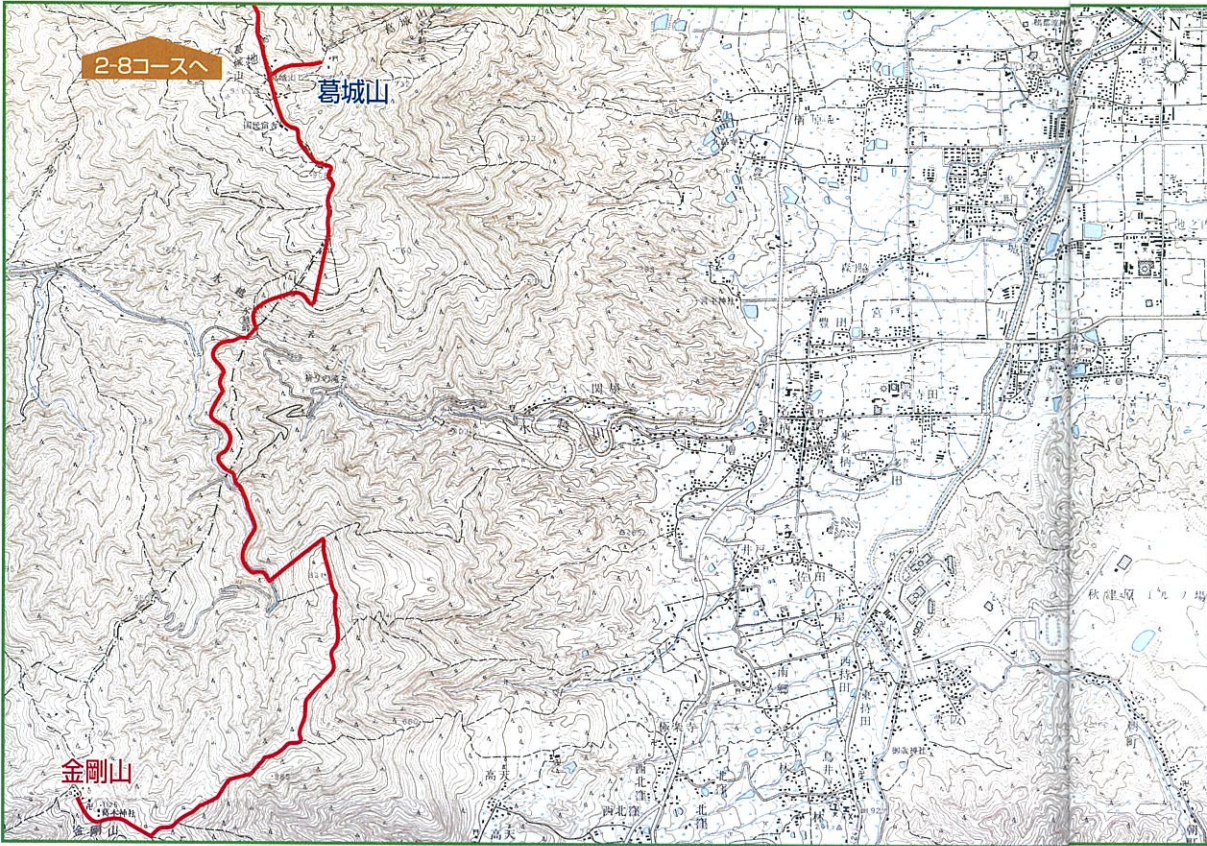
葛城山は、役行者の開いた修験道の山で、標高 959メートル。17～18世紀頃は「篠峰」と呼ばれていたらしい。現在、奈良県側（御所市櫛羅）から山頂近くの天神の森までロープウェイが通じている。頂上付近にはビジターセンター・自然研究路・キャンプ場・国民宿舎・食堂等の施設が整備されている他、広大なツツジ園があり、5月には真赤な花が山を彩る。

カタクリの花を観賞するには、縦走路から左（東）へ自然研究路に下る道をとり、谷の左岸（西側）コースをたどると、広大な群落を見ることが出来る。



沿線風景
葛城山カタクリの花をめぐるみち
金剛山地を平石峠から葛城山頂まで縦走するコース。大阪府側の平石をスタートし、平石峠に出、主としてヒノキやスギの人工林の中の道を南に向かって縦走する。急坂が多く、木製階段が随所に設けられている。岩橋山・岩橋峠・久保辻・持尾辻・二本松等の地点で、左あるいは右に枝道を分けながら縦走すると、葛城山北面に達する。葛城山北面は、それまでの薄暗い人工林とはがらりと変って、明るいヨウブやコナラの林となり、春には林床にカタクリが愛らしい花を咲かせる。林を登りつめると葛城山頂に出る。山頂は樹木がなく、周囲の展望が良い。





沿線風景



葛木神社

金剛山山頂にあり、一言主大神、後醍醐天皇、楠木正成を奉祀。神殿は関西唯一の大社造り。

奈良県コースの所要時間

約6時間40分

奈良県コースの距離

6.6km

起点までの最寄駅と所要時間

奈良交通バス 近鉄御所線「近鉄御所」駅
から「葛城ロープウェイ前」バス停まで15分

終点

「葛城神社」から「ロープウェイ山頂」駅まで
徒歩40分 金剛バス「ロープウェイ前」バス停から
近鉄長野線「富田林」駅まで35分

コースガイド

葛城山は、金剛山地第2の高峰(959メートル)で、奈良県と大阪府の境界。奈良県側からロープウェイが山頂近くまで通じ、国民宿舎やビジターセンターも整備されている。北東側には、一周2キロメートルの自然研究路もある。

水越峠は、標高 510メートル余。昔から水争いの舞台で、今も水が河内(大阪)側から峠を越えて大和(奈良)側へ流れている。

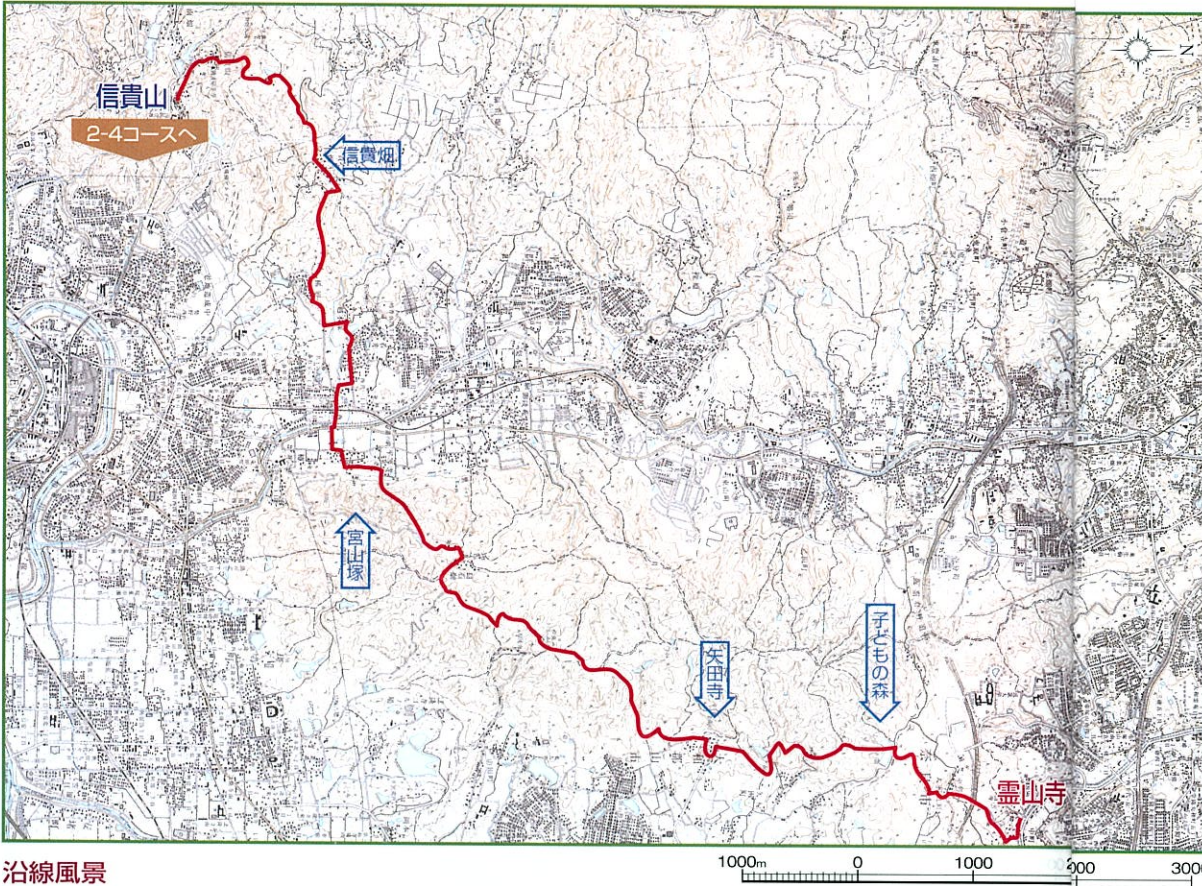
金剛山は、金剛山地の最高峰(1125メートル)。山頂部は奈良ロープウェイ・国民宿舎・ピ等大阪府側に施設が多い。輪寺・国見城址等、修験朝時代の史跡にちなむが豊富。

葛城山ツツジを楽しむみち

沿線風景

金剛山地の最高部にある葛城山と金剛山を結ぶ縦走コース。葛城山頂は、360度展望のきくススキ草原で、南面には「二百萬本」といわれる自然ツツジ園がある。5月の開花時には、山頂一帯が真赤に染まる。水越峠は、葛城山と金剛山を分ける峠で、奈良県と大阪府の分水地点となっている。峠の南側は杉や松の樹林地の中を歩くが、尾根に取りつてからは伐採跡地が多く、雄大な展望が楽しめる。金剛山の山頂は、葛城山ほど展望はきかないが、葛木神社周辺の杉の老木やブナ林が見どころ。冬の霧氷も含め、四季の変化が楽しめる。





沿線風景



矢田寺

天武天皇の創建と伝えられる古い歴史を誇り、数多くの文化財があり、境内には紫陽花が咲き乱れているところから「あじさい寺」の別名があります。

奈良県コースの所要時間

約8時間

起点までの最寄駅と所要時間

奈良交通バス 近鉄生駒線「信貴山下」駅から「信貴山」バス停まで 10分

奈良県コースの距離

16.1km

終点

奈良交通バス「霊山寺前」から近鉄奈良線「富雄」駅まで 10分

コースガイド

松尾寺は厄除け信仰でにぎわう神仏習合の古寺で、多くの文化財とバラ園(80種 500株)で有名。境内からの眺望が良い。

矢田寺(金剛山寺)は天武天皇の創建と伝えられ、数多くの文化財を蔵している。境内にアジサイが多いので、「あじさい寺」の別名を持つ。

東明寺は、天武天皇の第5皇子・舎人親王の創建と伝えられている。境内からの眺望が良い。

子どもの森は、県立矢田自然公園内につくられた子ども向けの森林公園。

霊山寺は、聖武天皇の勅願寺で天平時代の創建。鎌倉時代の美しい三重塔、みなバラ園がある。

矢田丘陵をこえるみち

沿線風景

信貴山から竜田川・矢田丘陵を横断して奈良市の霊山寺に至るコース。信貴山の裏山から大谷池を経て信貴畑の集落へ出る。信貴畑からは東へ、畑・果樹園・水田の中のを、樫原・越木塚とつないでゆく。このあたりの集落は、隠れたところに小さな神社や寺院がある。竜田川は、「たつたかわさくら親水公園」と名付けられ、すっかり改修された川になっている。続く椿井や平等寺の集落には、社寺の他に古墳も加わる。平等寺から山道へ入り、白石畑の集落を経て矢田丘陵の稜線をこえる。矢田丘陵はスギやヒノキの樹林が多く、その中の小径を松尾寺・矢田寺・東明寺と古刹をたどってゆく。最後に子供の森を通り抜け、霊山寺に至る。

